

第二項

水雷術關係褒賞實施



關係書類少ク明治四十年以前ニ於テ特ニ脱漏ノ疑アルモノ多シ
尙表記セルモノハ主要ナルモノノミニ限ル

第一、一般規程ニ依ル褒賞

| 年月日 | 褒賞事項 | 褒賞理由(褒賞文)摘要 | 叙勳 | 賞 | 官職氏名 |
|--------------|-------------------------|---|------------------------|-----------|-----------------|
| 明治二十六年六月二十九日 | 下瀬火薬ノ發明 | 多年學理ヲ研究シ刻苦精勵止マズ百難ヲ排シテ遂ニ有効ナル爆發藥ヲ發明シ海軍用トシテ之ヲ採用スルニ至ル是レ實ニ我兵器ニ一層ノ銳利ヲ加ヘ帝國海軍ニ裨益ヲ與フル所尠ナカラズ其ノ勳勞特ニ大ナリトス仍テ其ノ賞金ノ爲下記ヲ下賜ス | 叙勳五 等賜雙 光旭日 章 | 賜金 三百圓 | 海軍技手 下瀬雅允 |
| 三十一年十一月十二日 | 敷設水雷ノ自動繫維器ノ考案 | 敷設水雷繫維器ノ自動裝置ヲ企圖シ辛苦研鑽遂ニ好結果ヲ得海軍ニ裨益ヲ與フルコト尠カラズ其ノ効績顯著ナリトス | 叙勳五 等授雙 光旭日 章 | 賜金 百圓 | 海軍少佐 小田喜代藏 |
| 三十五年三月三十一日 | 海防用魚形水雷ノ計畫創製(英國保社ニテ作製ス) | 刻苦精勵海防用魚形水雷ヲ創製シ海軍ニ裨益ヲ與フルコト尠カラズ其ノ効績顯著ナリ | 叙勳四 等授旭 日小授 章 | 賜金 五百圓 | 海軍機關中佐 大館源太郎 |

| | | | | | |
|-------------------|---|-------------------|--|---|---|
| 同 | 同 | 同 | 四十二年 七月五日 | 三十七年 一月十八日 | 同 |
| 同 右 (掃海具ノ改良) | 同 右 掃海要具ノ改良 | 同 右 | 機雷ノ改良進歩 | 在來ノ縱舵調整器 ヲ改良ス (山下式縱舵調整 器ノ發明) | 右 助 成 |
| 同 右 | 同 右 先ニ掃海要具ノ改良或ハ實驗ノ事ニ 從ヒ大掃海要具ノ制式制定ニ貢獻ス ルトコロ尠ナカラズ其ノ勤勞顯著ナ ルヲ認ム | 同 右 | 明治三十八年以來機械水雷ノ改良實 驗ニ從事シ今日ノ制式ヲ完成スルニ 與リテ其ノ勞尠ナカラズ依テ褒賞ス | 刻苦精勵魚形水雷用縱舵機ヲ考案シ 海軍ニ裨益スルトコロ尠ナカラズ其 ノ成績顯著ナリ | 海防用魚形水雷ノ創製ニ關シ種々改 良ヲ加ヘ其ノ効用ヲ完全ナラシメ功 績顯著ナリトス |
| | | | | 叙勳八 等授白 色桐葉 章 | 授 双 光 旭 日 章 |
| 同 右 | 同 右 | 同 右 | 褒 詞 | 賜 金 百 五 拾 圓 | 賜 金 二 百 五 十 圓 |
| 海軍中佐 廣 瀬 順 太 郎 | 海軍中佐 武 部 岸 郎 | 海軍大佐 小 田 喜 代 藏 | 海軍造兵大監 種 子 田 右 八 郎 | 海軍技手 山 下 茂 太 郎 | 海軍機關中佐 伊 達 只 吉 |



| | | | | | | |
|--|---|---|--|---|--------------------------------------|---|
| 同 | 大正五年 四月二十 二日 | 四十三 年 七月二十 六日 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 同 右 | 電 機 節 約 装 置 ノ 考 案 | 方 位 盤 ニ 關 ス ル 意 匠 提 出 | 掃 海 具 ノ 改 良 實 驗 | 同 右 | 同 右 | 機 雷 ノ 改 良 進 歩 |
| 同 右 | 銳 意 熱 心 電 機 節 約 装 置 ヲ 考 案 完 成 シ 我 海 軍 ヲ 裨 益 ス ル コ ト 尠 ナ カ ラ ズ | 先 ニ 魚 形 水 雷 方 位 盤 ノ 改 良 意 匠 ヲ 提 出 シ 新 式 方 位 盤 制 定 ニ 與 リ テ 其 ノ 効 尠 ナ カ ラ ズ | 先 ニ 掃 海 要 具 ノ 改 良 或 ハ 實 驗 ノ 事 ニ 從 ヒ 大 掃 海 要 具 ノ 制 定 ニ 貢 獻 シ タ ル 處 尠 ナ カ ラ ズ 其 ノ 勤 勞 顯 著 ナ リ ト ス | 同 右 | 同 右 | 明 治 三 十 八 年 以 來 機 雷 改 良 實 驗 ノ 事 ニ 從 ヒ 今 日 ノ 制 式 ヲ 完 成 ス ル ニ 與 ツ テ 其 ノ 勞 尠 ラ ズ |
| 賜 金 百 圓 | 賜 金 百 五 十 圓 | 褒 詞 | 賜 金 百 五 十 圓 | 同 右 | 同 右 | 同 右 |
| 海 軍 上 等 兵 曹 中 川 三 三 | 海 軍 上 等 兵 曹 首 藤 竹 次 | 海 軍 大 佐 石 田 一 郎 | 海 軍 一 等 兵 曹 首 藤 竹 次 | 海 軍 技 手 津 田 瑛 三 郎 | 海 軍 大 尉 丹 野 武 雄 | 海 軍 少 佐 福 田 貞 助 |



| | | | | | |
|---|------------------------|-------------------------------------|---|---|--|
| 同 | 同 | 同 | 同 | 大正六年 十一月 五日 | 同 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 六年式五十三種魚 雷按出完成 | 同 |
| 七年七月 二十六日 | 同 右 | 同 右 | 同 右 | 新式魚雷ノ考案計畫製造ニ從ヒ六年 式五十三種魚雷ヲ按出完成シ我海軍 ニ裨益スルトコロ尠ナカラズ | 同 右 |
| 大掃海具要具二號 ノ完成 | 同 右 | 同 右 | 同 右 | 新式魚雷ノ考案計畫製造ニ從ヒ六年 式五十三種魚雷ヲ完成シ我海軍ヲ裨 益スルトコロ尠ナカラズ | 同 右 |
| 銳意熱心大掃海具ノ研究ニ從事シ幾 多ノ實驗ヲ重ネ遂ニ大掃海具二號ヲ 完成シ我海軍ヲ裨益スルトコロ尠ナカ ラズ | 新式魚雷ノ製造ニ從ヒ其ノ勞尠ナカ ラズ | 新式魚雷ノ計畫ニ從ヒ之ヲ完成シ我 海軍ヲ裨益スルトコロ尠ナカラズ | 新式魚雷ノ考案計畫製造ニ從ヒ六年 式五十三種魚雷ヲ完成シ我海軍ヲ裨 益スルトコロ尠ナカラズ | 新式魚雷ノ考案計畫製造ニ從ヒ六年 式五十三種魚雷ヲ按出完成シ我海軍 ニ裨益スルトコロ尠ナカラズ | 銳意熱心電纜節約裝置ノ考案完成テ 助成シ我ガ海軍ヲ裨益スルトコロ尠ナ カラズ |
| | | | 七年五月 三日 授旭日小 綬章 (死亡時 追賜) | 七年八月 十六日 叙勳五等 授双光旭 日章 (追賜) | |
| 褒 詞 | 賜金 百 圓 | 賜金 百參拾圓 | 同 右 | 褒 詞 | 賜金 五十 圓 |
| 海軍中佐 岡村友治 | 造兵業務囑託 小川清次郎 | 海軍技手 辻生一 | 海軍技師 山下茂太郎 | 海軍造兵大技士 松下正泰 | 海軍一等兵曹 和泉省三 |

| | | | | | | | |
|----------------|--|--|-----------------|-----------------|-----------------------|-------------|---|
| 同 | 同 | 昭和二年 五月三日 | 同 | 同 | 同 | 同 | 大正十二 年一月十 八日 |
| 同 右 | 同 右 | 一四式防潜網ノ案 出完成 | 同 右 | 同 右 | 同 右 | 同 右 | 魚雷發射机上ノ演 習機ノ完成 |
| 同 右 | 優秀ナル潜水艦防禦網ノ考案ヲ助成 シ我ガ海軍ヲ裨益セシトコロ尠ナカ ラズ | 優秀ナル潜水艦防禦網ノ考案ニ成功 シ我ガ海軍ヲ裨益スルトコロ尠ナカ ラズ | 同 右 | 同 右 | 承命熱誠實驗作業ニ從ヒ完成ニ貢獻 ス | 同 右 | 魚雷發射机上演習機ヲ創案シ之ヲ完 成シ我ガ海軍ヲ裨益スルトコロ尠ナ カラズ |
| | | | | | | | 死亡時 授旭日小 章(上記及 射法案出 ル)ノ巧ニ依 |
| 同 右 | 賜 銀盃一組 | 賜 銀盃一組 金二百五十圓 | 同 右 | 賜金 三十圓 | 賜金 五十圓 | 賜金 百圓 | 賜金 百圓 |
| 海軍特務中尉 菅谷安藏 | 海軍少佐 菊地鶴治 | 海軍中佐 渥美龜太郎 | 海軍一等兵曹 石合具三郎 | 海軍一等兵曹 和田多三郎 | 海軍特務少尉 橋元磐雄 | 海軍大尉 原忠一 | 海軍中佐 水落高五郎 |

第二、恩賜研學賜金取扱規程ニ依ル褒賞

| 年次 | 表彰事項 | 摘要 | 賞 | 官氏名 |
|-------|---|----|------------------|---------------------------------------|
| 大正十四年 | 一、飛行機雷撃ニ關スル研究(作業) | | 煙草入等 ノ物品 | 海軍大尉 小野 虎太郎 |
| 大正九年 | 一、潜水艦ノ測的法ニ關スル研究(作業) 一、大正七年度課題ノ潜水艦用機雷ニ關スル研究ヲ繼續シ之ガ完成ヲ圖ルベシ(作業) 一、掃海法及敷設法ノ一若クハ兩者ニ就キ研究セヨ(作業) | | 時計 | 海軍大尉 桑島 新 海軍大尉 横倉 房吉 海軍大尉 佐藤 波藏 |
| 大正七年 | 一、掃海具ノ改良考案(大掃海具二號) 一、同右 | | 同右 | 海軍中佐 岡村 友治 海軍少佐 神本 國太郎 |
| 大正六年 | 魚形水雷ノ案出製造(五十三糧六年式) 一、自己ノ經驗ニ徴シ驅逐艦水雷艇乘員タル將校ノ勤務上參考トナルベキ事項(作業) | | 時計 | 海軍造兵少監 松下 正泰 海軍大尉 石井 光知 |
| 大正五年 | 一、戦闘力ヲ最上ニ發揮スベキ部下統帥訓練ニ關スル最良手段竝ニ本致育年度各自採リタル其ノ方法及成果ニ就キ所見ヲ述ベヨ(作業) 一、現用甲雷附屬兵器ニ關スル研究(作業) | | 賞金 三十圓 七十圓 | 海軍少佐 小副川 敬治 海軍少佐 日高 正治 |

帝國海軍水雷術史(第三編)終

| | | | |
|------------------------------|---|------|--------------------|
| 昭和五年 | 一、航空機魚雷發射法ニ關スル研究(作業) 一、燕型敷設艇ノ諸性能ヲ研究シ理想トスル局地防禦用敷設艇ヲ考案セ 三(作業) | 昭和三年 | 一、簡便ナル占位運動盤ノ考案(作業) |
| 海軍大尉 日高實保 海軍大尉 副田久幸 | 海軍大尉 笠井利男 | | |

(備考) 之等褒賞實施理由ノ詳細ニ就テハ第四編(教育訓練)第六編(兵器)ヲ参照スベシ